

～ 松野の農業・農地は俺が守る ～  
加賀田 幸二さん（松野町）

鬼北地区認定農業者等連絡協議会長 1966年生まれ



☆経営概況☆

水稻2.5ha、施設きゅうり〔3.5 a×2回（春1回、秋1回）〕、ゆず40 a、水稻受託作業約20ha（育苗管理2,000箱、田植え5～6ha、稲刈り15～16ha）。全て一人で作業します。

☆ここがポイント☆

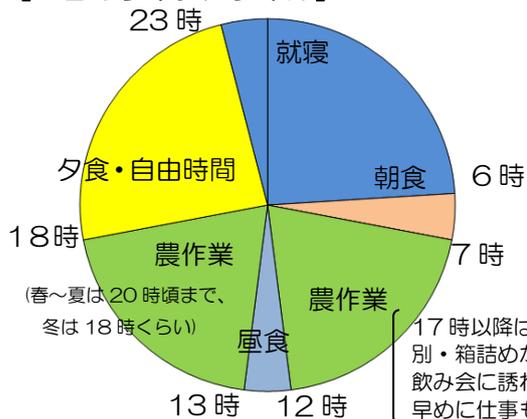
■大規模面積の水稻の作業受託

米の生産販売だけでは、なかなか利益を確保することは困難ですが、**独自の販売先を確保し**、自作地のお米は全て完売しています。作業受託は、地域内の田植えや稲刈りを請け負うことで、地域の農家が先祖から受け継いだ農地で、少しでも健康で**「楽に」「長く」、農業が続けられるよう手助け**しています。

■施設きゅうりとゆずで中山間地でも収益を確保

農業は、収入がないというイメージが先行していますが、**お米でも独自販売することで、収入を確保**できます。鬼北地域は、きゅうり、なす、ナバナやゆず、くりなどの作物、作型の組み合わせの工夫により十分収益が確保できるのも特徴です。特にゆずは加工向けのため、栽培にそれほど手もかからず、きゅうり、水稻と繁忙期の労働競合もなく、地域にあった作物だと思えます。

【一日のライフスタイル】



【普段の生活について】

年間を通じて作業の合間や梅雨時期なども機械のメンテナンスで、定期の休日が取れないのが現状です。(ー)!! 春作業前の1～3月に、旅行などで気分転換しています。この時期以外でも雇用を入れていないので、自分のペースで仕事をこなして、都合をつけてストレスを感じない様に工夫しています。唯一の心配は、食事の時間が不規則になりがち!若いので、そこは体力でカバーしています。

17時以降は、自由時間ですが、キュウリの出荷最盛期には選別・箱詰めがあります。飲み会に誘われれば基本断りません。翌日都合が付くなら、早めに仕事も切り上げます。(ー)

【一週間のライフスタイル】

月	火	水	木	金	土	日
繁忙期	田植、稲刈り時期は、雨天でも何かの作業はしています。(*_*)					
普段	施設キュウリの収穫・出荷、防除作業など。ただし雨天時は休みます。					
農閑期	旅行。雨天時は基本 休みます。時々間伐アルバイト					



☆これからの夢や目指すもの☆

■友人と法人化して更に大規模面積を作業受託できるように

個人での経営規模の拡大に限界を感じるようになったり、集落営農も考えていましたが、様々な問題があり実現できませんでした。現在は、時々お互いの作業を手伝う友人と**2017年頃を目途に法人**を立ち上げようと考えています。法人化し規模拡大することで雇用も可能になり、今まで以上に**地域の農地・農業を守っていける**と考えています。

☆メッセージ☆

■松野町で一緒に加工用のもも・くり・ゆず・うめをつくりませんか？

松野町では、様々な加工向けの果樹を加工業者と連携し生産しています。省力化した栽培技術で**青果販売以上の収益が確保**出来るように、関係機関と一緒に取り組んでいるところです。農林会社による研修や作業支援も充実しています。きゅうりなどの野菜以外にも水耕トマトやマンゴーなど作れるものがたくさんあって、いろいろと選択肢が多い地域だと思えます。産直施設も多いので販売方法も多様です。興味のある方、**松野町で農業にチャレンジ**してみませんか？